

実践例 那須町立高久小学校

教科・科目等 道徳科（5学年 10名）

本時の目標

ユニセフ親善大使として活動する黒柳徹子さんの心情を考えることを通じて、他国の人々の生活の様子について理解し、国際親善に努めようとする心情を育てる。

育てたい資質・能力等

ネパールやフィリピンの子どもたちの権利が保障されていない現状を知り、子どもの権利条約について理解することができる。（知性）

教材

- ・道徳科教科書（世界に目を向けて ユニセフ親善大使 黒柳徹子）
- ・子どもの権利条約に関する掲示物
- ・ワークシート

展開

- 事前に実施したアンケートの結果を振り返る。（「みなさんが考える、国際理解、国際親善とはどのようなことですか。」）
- 教科書の範読を聞き、ネパールの現状を知った黒柳さんがどのような気持ちだったか考える。
- ALT から「フィリピンの貧富の差」についての話を聞く。
- 子どもの権利条約について知る。
- 黒柳さんが、世界の約90%の子どもたちが辛い状況で暮らしていることを知って「ありがたい」と思ったのはなぜかを考える。
- 国際理解、国際親善はどのようなことか考える。
- ALT が考える国際理解、国際親善について話を聞く。



学習の様子

